

飯田橋駅
東口周辺

今後想定される再開発等の機会を捉えて、都市基盤等の整備を適切に誘導し、飯田橋駅前地区のまちづくりを推進することを目的とする、
「飯田橋駅前地区基盤整備ビジョン」を策定しました

飯田橋駅前地区は、駅とまちを行き来する動線のバリアフリー対応が遅れていることや、飯田橋五差路の歩道橋の老朽化等、都市基盤が課題となっています。そのため、令和3年度より、地元の土地・建物所有者等による「飯田橋駅前地区まちづくり勉強会」を重ね、まちの現況・課題、基盤整備を中心としたまちの将来像を取りまとめ、令和4年8月に「飯田橋駅前地区基盤整備ビジョン」を策定しました。

今後は、本ビジョンの実現に向けて、再開発等の勉強会を開催し、本ビジョンの更なる周知及び再開発等の機運醸成を図っていきます。

まちづくりの目標

『歴史と暮らし・賑わいが多層に重なり合い

誰もが快適に過ごせる水とみどりの飯田橋』

～住む人・働く人・訪れる人など、

子どもから高齢者まで誰にとっても快適なまち～

まちづくりの方針

交通基盤 多層に行きかうことができる安全で快適な歩行者空間の形成

- 方針1 地区内及び周辺地域との連携による回遊性の強化
- 方針2 駅とまちをつなぐ、安全で快適な歩行者空間の整備促進
- 方針3 ユニバーサルデザインに配慮した、まちの顔となる印象的な滞留空間の整備促進



ペDESTリアンデッキ（浜松町）
多層に行きかう事ができる安全で快適な歩行者空間の整備事例

公共的空間 多層に繋がる賑わいと潤いあふれる空間の創出

- 方針1 外濠や神田川などと連続したみどりの創出
- 方針2 歴史的資源と調和した賑わいのある街並みの形成
- 方針3 多機能で誰もが使いやすいオープンスペースの整備促進



（コモレ四谷）
オープンスペースにおける、まとまったみどりの整備事例

まちの機能 利便性を活かした都市機能の充実

- 方針1 住・商業・業務の調和した賑わいの創出
- 方針2 適切な駐車場・駐輪場の整備
- 方針3 建物更新等による防災性の向上
- 方針4 ゼロカーボンシティの実現に向けた、環境に配慮した取組の促進



（神田スクエア）
大規模開発にあわせて整備された駐輪場の整備事例

交通基盤の現状・課題及び整備イメージ

交通基盤の現状・課題として、道路には歩行空間が十分に確保されておらず、高低差もあることから高齢者や車いす利用者にとって移動しづらい状況となっています。また、飯田橋五差路の歩道橋や、地下鉄出入口など、駅からまちへつながる動線のバリアフリー化が不十分な状況となっています。

このような状況を踏まえ、以下のとおり、周辺地域との連携による回遊性の強化や駅とまちをつなぐ、安全で快適な歩行者空間の整備促進などの交通基盤の整備イメージを掲げ、駅周辺の都市開発と連携した基盤整備を誘導していきます。

《交通基盤の整備イメージ》



イメージは位置や大きさを限定するものではなく、整備の考え方を示しています。

本ビジョン対象区域

○凡例

- ◀▶ 周辺地域との連携による回遊性の強化
- ◀▶ 地区内及び周辺地域との連携による回遊性の強化
- 駅とまちをつなぐ、安全で快適な歩行者空間の整備促進
- ⊙：縦動線（エレベーター、エスカレーター、階段等）
- ⊙：地上・地下・デッキレベルの歩行者空間など
- ⊙：まちの顔となる印象的な滞留空間の整備促進

【現況】

- EV ESC↑ B1 駅出入口
- ⊙ オープンスペース（公園、神社、公開空地等）